



imabari towel
Japan

今治タオルと今治市の2者協定 森林づくりCSR活動「今治タオルと水の森」 ～10月24日 第2回ボランティア活動レポート～



参加者の様子

今治タオル工業組合（愛媛県今治市 理事長 正岡裕志）により推進されるジャパブランド「今治タオル」は、愛媛県今治市（市長 徳永繁樹）と緑豊かな郷土づくりを目指すために、市と企業の2者協定を交わし、森林づくりCSR活動「今治タオルと水の森」を推進しています。今回、10月24日(日)に第2回のボランティア活動を実施いたしました。

■ 活動実施の背景

今治タオルづくりに欠かせない豊富な軟水を生み出してくれる蒼社川。その源である高縄半島の森を大切にしたいという今治タオル工業組合の思いがきっかけで、森林づくりCSR活動「今治タオルと水の森」は2019年11月27日に締結式を実施し、スタートしました。高齢化による人手不足が原因で荒廃する森林を健全な状態に保ち、緑豊かな郷土づくりを目指すため、今治市と今治タオル工業組合が2者協定を交わし活動しています。

豊かな森は、保水力から「緑のダム」とも言われており、洪水を緩和（洪水軽減）し、水資源を貯留（湧水緩和）する水源涵養機能があります。その森に浄化された水は、今治平野の農作物や瀬戸内海の魚を豊かにする根源であり、今治タオル産業の発展にも繋がります。そんな素晴らしい自然の循環を、未来永劫に渡り、守っていきたいと考えています。

■「今治タオルと水の森」第2回ボランティア活動実施内容

第2回は、「森はみんなのエネルギー」をコンセプトに、伐採や植林といった木材としての利用だけではなく、焚き火や炭、ペレットなど熱エネルギーとしての利用や、森の恵みを食べて体のエネルギーとする食育体験などのコンテンツを、「一般社団法人 をかしや」および「TORICO」と共同で実施いたしました。参加者からは、「竹を細かくすると虫のベッドになるんだ〜！」といった、自然に対する関心の声などが上がりました。

実施日時 : 2021年10月24日 9:30~14:00

参加対象者 : 組合員およびその家族

参加者 : 6社13名

実施内容 : ①竹害問題について学び、竹を伐採する
②伐採した竹を組んだ中に竹のチップを入れ、カブトムシの幼虫を育てるためのカブトムシランドを作る
③森の中で体を動かして遊ぶことで自然を体感する、森のてらこや
④森のめぐみを生かした食育体験、テーマは「ヘンゼルとグレーテル」

■今治タオル工業組合 正岡裕志 理事長 コメント

現在、今治タオル産地では「今治という地域から、サステナブルな世界をつくる産業へ」と銘打って各種CSR活動に取り組んでいます。その活動は4分野（地球環境、教育、労働環境、パートナーシップ）で13事業に及び、今年度は生産現場で発生する資源ロスの削減方法の模索として端材アップサイクルなどを展開しています。「今治タオルと水の森」ボランティア活動は、社会貢献の大切さを学ぶと共に日本人特有の自然観や美意識、豊かな感性を育み、将来のタオルものづくりを担う人財育成にも繋げる取組みとなります。今後も様々な取組みを推進する中で、社会からより信頼されるタオル産地を目指します。

■「今治タオルと水の森」概要

所在地 : 今治市玉川町龍岡下能智

面積 : 48.43ha

■今治タオル工業組合概要



imabari towel
Japan

代表者 : 理事長 正岡裕志
住所 : 〒794-0033愛媛県今治市東門町5丁目14番3号
TEL : 0898-32-7000
URL : <http://www.itia.or.jp>
設立年月日 : 昭和27年11月1日
組合員 : 100社
出資金 : 118,640千円
事業内容 : タオル製造業に関する指導及び教育、
タオル製造業に関する情報・資料の収集及び提供、
タオル製造業に関する調査研究、
組合員のために行う組合ブランド推進事業、共同購買事業、共同金融事業他
公式SNS : Facebook 今治タオル (@imabaritowel)
<https://www.facebook.com/imabaritowel/>
Instagram 今治タオル公式(@imabaritowelofficial)
<https://www.instagram.com/imabaritowelofficial/>